

小林秀雄 (こばやし・ひでお) 1902~1983

文芸評論家 ~近代文芸批評の確立者~

出生 1902年(明治35)4月11日、東京市神田区神田猿樂町(現・千代田区猿樂町)に東京高等工業学校助教授(のち日本ダイヤモンド会社創立者)の長男として生まれる。

履歴 東京府立第一中学に入学(1915年)、富永太郎や河上徹太郎を知る。旧制第一高等学校に入学(1921年)、同年父を失い、家計が逼迫する。東京帝国大学文学部仏蘭西文学科入学(1925年)、この頃中原中也、大岡昇平を知る。帝大を卒業(1928年)し、「様々なる意匠」を「改造」に発表。明治大学講師になり(1932年)戦後まで勤める。戦時中に日本文学報国会常任幹事となり中国に渡る(1943~1944年)。終戦後、母を失い、明治大学教授を辞する(1946年)。この後、創元社取締役(1948~1961年)以外組織に属さなかった。芸術院会員に選ばれ(1959年)、文化勲章を受賞した(1967年)。

事績 フランス19世紀の詩人で象徴主義派と言われるボードレール、ランボオなどに影響を受けた文芸批評は、昭和初期の発表当時から、談論風な印象批評やマルクス主義文学者の社会科学的評論とは異なり、批評行為自体を明晰に意識化したものとなっている。こうした態度は、当時の文学界にとって詩人でもなく小説家でもない批評家が出現したとされ、その後書かれた批評文によって、文学者や思想家に大きな影響を与えた。

評価 思想家マルクスから直接、人間の行為を把握しようとする態度は、その後日本におけるマルクス主義の影響のなかで一つの立場を表明しており、政治党派的理解に対する批判の源泉になった。一方、一人の人間を超える状況を大雑把に宿命と捉え、分析的な批評になっていないといった指摘がある。志賀直哉やドストエフスキーなどの文学者ととどまらず、音楽家モーツァルト、画家ゴッホ、セザンヌなど芸術家、国学者本居宣長の批評文を執筆した。近代の文芸批評を語る際には逸することのできない人である。

代表作

「様々なる意匠」 当時全盛であったプロレタリア文学や新感覚派など芸術主義文学を批判し、文学は不安定な言葉で自意識を表現するという象徴主義的文学観による独自の批評を展開した文壇処女作である。全集1に収載。

「無常といふ事」 無常とは現実世界の不定形な生の意で、彼岸の常なるものと対置されている。戦時中に書かれた短い文章で、日本古典志向という風潮を契機としているといわれており、後年大著となる「古事記伝」の本居宣長も引用されている。全集7に収載。

『近代絵画』 近代の時代精神をモネ、セザンヌ、ゴッホ、ドガなどを取り上げ、画家列伝の形式で論述しており、特に自然に従い無私と忍耐の生涯を送ったセザンヌ論は有名。著作集11に収載。

『本居宣長』 宣長の日本文化を追求する思想変遷過程を、在野の朱子学者と関連づけた近世思想史の中にとらえるとともに、源氏物語や古事記を読む宣長を解読するという構造になっている。批評家としての思想を集大成した晩年の大著である。全集14に収載。

エッセイ 『改造』懸賞評論に「様々な意匠」で第二席となった。この時の第一席は芥川龍之介を描いた「敗北」の文学」であり、作者は戦後日本共産党議長になった宮本顕治である。発表された昭和4年当時の文壇及び論壇におけるプロレタリア文学の影響力の強さと、後年、文芸批評及び思想界に与えた両者の影響を考えると興味深い。

神奈川 昭和6年、母親を伴い鎌倉佐介通に転居し、その後扇ヶ谷、雪ノ下などに居を移すものの終生鎌倉の地を離れなかった。鎌倉山ノ内の東慶寺に眠っている。

最期 1983年(昭和58)3月1日、腎不全のため慶応義塾大学病院にて死去。享年80歳。



土門拳撮影

Great Works 31

小林秀雄全集 全16巻 新潮社 2002年 <918.68LL / 145>

解題 生誕100年を記念して編集した全集。小林秀雄の全集は、昭和25年(1950)の創元社版8巻の全集を第一次として、これまで4度全集が編まれているので、この版は第五次となり、決定版といえる。収録作品は、著者の生前の考えとして、自ら作品として発表した文章で、読者に供し得る域まで

思索が熟していると認めた作品に限定しており、死後発表された文章の収録もこの方針が採られている。配列は発表年順とし、加筆修訂の最終形態としている。翻訳作品は「ランボオ詩集」など4作品に限っている。編集責任は新潮社である。

内容

- 1 様々なる意匠[改造社 1934年] ランボオ詩集(翻訳)[初出題名は「地獄の一季節」白水社 1935年] 他
 - 2 【論文】マルクスの悟達[1931年] Xへの手紙[野田書房 1936年] 他
 - 3 私小説論[作品社 1935年] テスト氏(翻訳・ポール・ヴァレリー原著)[野田書房 1934年] 他
 - 4 精神と情熱とに関する八十一章改訳(翻訳・アラン原著)[創元社 1940年] 他
 - 5 【論文】ドストエフスキーの時代感覚[1937年] 菊池寛論[1937年] 他
 - 6 ドストエフスキーの生活[創元社 1939年] 他
 - 7 【論文】歴史と文学[1941年] 無常といふ事[1942年] 他
 - 8 モーツァルト[創元社 1947年] 人間の進歩について(対談)[新潮社 1948年] 他
 - 9 私の人生観[創元社 1949年] 鐵齋を語る、鐵齋 [1949年] 他
 - 10 真贋[新潮社 1951年] ゴッホの手紙[新潮社 1952年] 他
 - 11 近代絵画[人文書院 1953年] 他
 - 12 考えるヒント[文芸春秋新社 1964年] 【論文】無私の精神[1965年] 他
 - 13 人間の建設(対談・岡潔)[新潮社 1965年] 【論文】信ずることと知ること[1976年] 他
 - 14 本居宣長[新潮社 1977年] 【論文】本居宣長補記 [1979年] 本居宣長補記 [1980年] 他
- 別巻 【論文】感想<未完のベルグソン論> [1958年~1963年] 正宗白鳥の作について<未完> [1981年]
別巻 印象記<水上勉、石原慎太郎、白洲正子ほか> 年譜 作品解題 著者目録

参考文献 ~この人をもっと知るために~

<図書>

- 小林秀雄 / 阿部良雄ほか著(群像日本の作家14)
小学館 1991年 343p <910.26Z / 945 / 14> 資料番号 20387429
- 世界という背理 小林秀雄と吉本隆明 / 竹田青嗣著
河出書房新社 1988年 197p <910.28W / 1611> 資料番号 12707782
- 小林秀雄とその時代 / 饗庭孝男著
文芸春秋 1986年 322p <910.28T / 1468> 資料番号 12706453
- 兄小林秀雄 / 高見沢潤子著
新潮社 1985年 263p <910.28S / 1373> 資料番号 12705646
- 論考小林秀雄増補版 / 中村光夫著
筑摩書房 1983年 293p <910.28J / 829A> 資料番号 21659586
- 小林秀雄を読む / 大江健三郎ほか著(叢書・知の分水嶺1980s)
現代企画室 1981年 314p <910.26 / 2151> 資料番号 21659594
- 小林秀雄 / 高橋英夫著
小沢書店 1980年 260p <910.28M / 994> 資料番号 11909009
- 小林秀雄をこえて(対談評論) / 柄谷行人、中上健次著
河出書房新社 1979年 186p <H910 / K70> 資料番号 71448161
- わが小林秀雄 / 河上徹太郎著
昭和出版 1978年 305p <910.26J / 373> 資料番号 11895927
- 小林秀雄 / 江藤淳著(江藤淳著作集3)
講談社 1967年 287p <918.6 / 189 / 3> 資料番号 12069183

<図書(部分)>

- 教祖の文学 / 坂口安吾著(坂口安吾全集5)
筑摩書房 1998年 p231 - 246 <918.68 / 112 / 5> 資料番号 21054291
- 小林秀雄と三十年 / 青山二郎著(青山二郎文集)
小沢書店 1987年 p207 - 226 <704U / 145> 資料番号 12631016
- 小林秀雄 / 大岡昇平著(大岡昇平集12)
岩波書店 1983年 p34 - 498 <918.6 / 483 / 12> 資料番号 12102315
- 小林秀雄『本居宣長』 / 蓮實重彦著(小説論=批評論)
青土社 1982年 p7 - 38 <910.4P / 300> 資料番号 12708384
- 小林秀雄 / 吉本隆明編集・解説(近代日本思想大系29)
筑摩書房 1977年 p418 - 451 <121G / 73 / 29> 資料番号 10194504